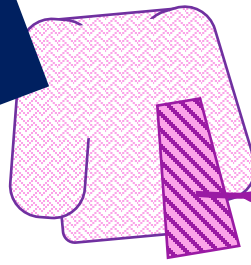


掲載記事

facebook



「いいね！」してね。



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第158号:H31.2.7

五泉の良いことつたえ隊、青木です。

2月12日～13日は別所虚空蔵尊例祭・雪灯りフェスタ！

「村松AKINAIプロジェクトさん取材しました！」

夜の8時、**村松商店街**のとある場所にて。

雪灯りフェスタで「**エコペットボトル灯籠**」を展示するため、準備作業が行われていました。

村松小学校、愛宕小学校、大蒲原小学校の皆さんが授業や冬休みの時間を利用して作成した、数にして500個くらいの灯籠。力作がたくさん揃っていました。きれいな色合いのエコペットボトル灯籠を見ているだけでココロがほっこりしてきます。

フェスタ当日は村松商店街の歩道を、この灯籠が優しく灯してくれます。まるでクリスタルのように輝く灯りになるそうです。

「**村松AKINAIプロジェクト**」八木委員長よりお話を伺いました。

別所虚空蔵尊例祭は自分の94歳になる祖母も行っていたという、かなり昔からある行事。

昔は蒲原鉄道の駅から別所まで歩く（1時間位）人が多く商店街も賑わっていたそうです。

その賑わいを取り戻そう！と別所有志会さんが雪灯籠を始め、それに賛同したのが「**村松AKINAIプロジェクト**」で、中央商店街、共栄商店街で構成されたチームです。

更に、上町商店街、北ブロック青年部有志、寺町不朽会さんらも参道し、毎年雪灯りフェスタが行われているのです。

最初は雪灯籠。雪の少ない年もあり、竹灯籠でやったことも。雪不足を解消するために考えられたのが今のスタイル。

小学校の校長先生も協力にすぐ快諾してくれ、小学生の皆さんがご家族の方と作品を見に来られて写真を撮ったり、毎年楽しんでいるそうです。

もうかれこれ10年位は継続している雪灯りフェスタ。**地域の皆さんを巻き込み、継続**することは大変なことだと思います。

商店街を活性化させようと、奮起する皆さんとのいい出会いでした！





掲載記事

facebook



「いいね！」してね。

五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —



第160号:H31.2.15

五泉の良いことつたえ隊、青木です。

農家のおかあさんが教える親子料理教室を取材しました！

「五泉市特産品がおいしい料理に！

こども達もみんな大満足！」

主催は、農家のお母さん方の集まり
「五泉市グリーンレディース」さん。
今回はメンバー10名が揃い、五泉市栗島ふれあい館にて開催されました。

参加したご家族は8組。
お子さんは**小学校1～4年生**でした。
自宅で包丁を持ったことがない子から、一通りできる子まで様々。

でも大丈夫！
グリーンレディースさんがちゃ〜んと見守っています。

料理教室には4台の調理台。
それぞれにグリーンレディースさんがつき、
目が届く十分な配置です。

たまった洗い物や濡れた床も、パパッとキレイに。
やらせて〜とやる気満々の子。

手慣れた手つきで刻んだ野菜を炒める子。
レシピを見て次を確認する子。

普段お料理をしないパパさんもやりたくなる。
ミキサーの回転が悪く試行錯誤する家族。

みんなで褒めたり、笑ったり。
まだお料理より遊びたい子たちは仲良しに。

飽きた子もあやしてしまいます。
なんだかんだであっという間に出来上がり！

五泉市を代表する農産物をしっかりと取り込んだメニュー。

- ・ コメ粉シチュー
- ・ レンコンもち
- ・ いちごの白和え

その他、グリーンレディースさん手作りのお惣菜が沢山！

ポテトサラダ、蒟蒻煮、漬物・・・。

そして、お味噌汁と新之助のごはん。

食後には「**五泉3美人**」わかる人？？と市の職員さん。
最後の一つを一生懸命考えて、全部言えた小学2年生♪

お子さん方も、パパもママも美味しかった！とニコニコ笑顔でした。

自宅に帰ってからも会話が弾んだでしょうね。
これを機にお手伝いするのかな？

未来の料理人発掘かも？
家族のほか、一緒に作ったみんなと食事ができることも
お子さん方にはいい経験。

五泉市グリーンレディースさん！
素晴らしい機会をありがとうございました！！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第161号:H31.2.21 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市は子育てしやすいまち♪
ごせん安心子育てにここにこサポートサイト
「にこサポ」があります！



「五泉市総合保育園子育て支援センターを取材」

絵本の読み聞かせ講習会が開催されるとのことで、行ってきました！

満4歳未満のお子さんとママさんが、3人の先生方に迎えられ次々と遊びの広場にやってきました。久しぶりだね～元気だった？と声掛けされて照れ笑いするお子さん。

お友達が来ると、待っていたかのように

元気に遊んでいました。

そろそろ時間になると、みんなで一緒にシートを用意。

先生を中心にゆったりと座ります。

お子さんは集中力が続かないから、写真は最初のうちにね、なんて言われていましたが・・・。

先生のポケットからは次から次へとお子さん方が目を見張るようなものが出るわでるわ。

さすが注目を集めることにはプロです！

よ～し皆落ち着いたかな～？というところで、

絵本の披露が始まります。

先生の真ん前でかぶりつきで見ると。

ゴロ～んとする子に、まだ寝ないでね～と優しく先生。

おいしそうな食べ物絵に思わず、パクとしちゃう子。

皆おいしそうにパク！ちゃんと順番に。

そろそろ集中力が途切れ始めると、

手遊びが始まり、また色々な仕掛けが飛び出して。

ゆる～い秩序の中にも先生を中心とした

み～んなの輪がしっかりありました。

お子さんも楽しいし、話やすい先生がいて、

ママさんはホッとできるところです。

当日は10組くらいの親子さんが参加していました。

五泉市総合保育園子育て支援センターは建物の木の香りが

して、リラックスできる居心地の良さもありました。

保護者はパパさんも、おじいちゃんもおばあちゃんも

大歓迎です！多くの方に利用して頂きたいですね。



ご存じでしたでしょうか？

五泉市には4か所の「子育て支援センター」があります。

- ・五泉市子育て支援センター
- ・五泉市村松子育て支援センター
- ・五泉市白山子育て支援センター
- ・五泉市総合保育園子育て支援センター

こちらの利用対象者は、満4歳未満のお子さんと保護者。

○広い遊び場には絵本や玩具があります。

- ・親子で遊べます
- ・お子さんの遊び場に
- ・子育て親子の交流の場に

○子育てについて不安やお悩みはありませんか？

・子育て相談ができます（電話もOK）

○子育ての講習会、様々なイベントを開催しています。

- ・お誕生会、絵本の読み聞かせ、ママ友づくり、助産師訪問など

○遊びの広場、相談は無料です。

にこサポはこちら↓

<http://www.nikosapo.jp/>

イベント情報はこちら↓

<http://www.nikosapo.jp/event/list?clear=1>

開所日など詳しくはHPをご確認を。こちら↓

https://www.nikosapo.jp/support/detail?cate_flg=5&no=1013



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第163号:H31.2.25

五泉の良いことつたえ隊青木です。



2019年2月12日 別所虚空蔵尊例祭の雪灯籠を取材！

「別所と虚空蔵様を守る、温かく一生懸命な人たち」

雪灯籠は**幻想的**だよ～という言葉に誘われて、

2月12日午後4時半、現地入りしました。

アポなしの取材にも関わらず、
どうぞどうぞ！これはこれはありがとうございます！と、

快く承諾してくださいました。

休憩場所の広い玄関に置かれた灯油ストーブを囲んで
皆さんがいらっしゃいました。

お話を伺うと、

過疎化により雪灯籠を作る人員が急速に減少しているけれど、
それでも失くしたくない、残さなければと踏ん張っているとのこと。

蝋燭を灯すと幻想的で綺麗なんだわ～。

最近ではアベック（カップル）の歩く姿も見えるし
雪灯籠を楽しみに来てくれる方が増えたんだよね、

綺麗だね～なんて言葉が聞こえると嬉しくなるんだわ。

そんな有志の皆さんが一番楽しみにしているのでしょうか。

年に**1回**だけど、大変な作業。

今年は雪不足のため、2トントラックを5回もまわして
雪をかき集めたそう。

雪灯籠づくりは、まずバケツの中に雪を詰め込みます。

一升瓶の底で窪みをつけます。それを二つ。

窪み部分を上下に合わせて、蝋燭を入れる窓を切り出します。

雪質によりはかどり方が違うそうです。

出来上がったら虚空蔵様までの道のりに均等に置いていきます。

相当数ありました。朝から夕方まで掛かっているくらいですから。

前日までにこの作業を終えるよう準備するのです。

雪がちらつく中だいたい日も落ち薄暗くなってきました。

寒いから暖まってからねと、生姜葛湯をいただいて。

午後5時少し前、各グループに分かれ蝋燭に火を灯しに、いざ出発！

。 。 。 まだ薄青い時間に灯る蝋燭。 。 。

。 。 。 そして暗くなるまでの時間。 。 。

ご想像にお任せします。

虚空蔵様までの道中に、村川栗園さんの**売店**がありました。

要チェック！こんにゃく煮、漬物、お饅頭、

お赤飯と地元のものばかり。

虚空蔵様の灯りが見えてくると、**太鼓の音**が響いてきました。

なんだか厳かで心洗われた気持ちになりました。

帰りにお饅頭を買い、皆様にご挨拶をして退散しました。

来年は私も雪灯籠を作ります！

この風景がず～っと続くように！ 皆さんもご一緒しましょう!(^^)!

来年は手打ち蕎麦が復活するかもしれません♪





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第164号:H31.2.26 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市の忠犬タマ公を語り継ぐ
地元愛溢れる "忠犬タマ公委員会" を取材！



「しゃべる紙芝居で世界に広げよう！」

皆さんは、「忠犬タマ公」をご存じでしょうか？

昭和の初め頃旧川内村で生まれ、
刈田吉太郎さんに猟犬として育てられたメスの柴犬です。
猟に行った先で雪崩に巻き込まれた刈田さんを
両足から血を流しながらも雪を掘り続け救出しました。
そのとき一緒に行ったじっちゃんは助からず、
刈田さんは長い間悲しみにくっていました。
タマはそんな刈田さんを励まし一緒に猟に出掛けようと、
決して刈田さんが追わせることがなかったイタチを
くわえ傷だらけで帰って来ました。
刈田さんを奮い立たせました。
その2年後、仲間とタマと猟に出かけた刈田さんは、
2度目の雪崩にあいました。もうダメかと思ったとき、
またタマの雪を掘る音が。仲間の一人を助けたあと、
刈田さんを探し出し見事救出したのです。

賢く勇敢で主人思いのタマの武勇伝はたちまちに広がり
「忠犬タマ公」のお話として今も語り継がれているのです。

この感動するお話を多くの方々に知っていただきたい！
と「紙芝居」にして活動をしている「忠犬タマ公委員会」
伊藤委員長にお話を伺いました。

「いい話でしょー！」
と、先ほど読んだばかりかのように
自慢しているのか、問いかけてきているのか。
そうですね、良いものは伝えたくります。
このお話を知った人はきっと、
目頭が熱くなり心がジーンとすると私も思います。
でもそれだけではないと仰います。
昨今の殺伐とした世の中。
いじめ、動物虐待、、、胸が締め付けられるニュースが
毎日のように流れてきます。

このお話を知って、感じてほしいことが。
動物にも心があるということ
友達は大切な存在
タマを友達に置き換えてみる
家族との絆
優しく接すれば、優しく返ってくるということ
信じるということ、、、思いが溢れてきます。
この感動ストーリーを世界にも広げたい！と、
絵本ではなく、日本の文化である「紙芝居」という
形にしたそうです。
しかも、地元**五泉産ニットの**余り生地を利用。
ここにも地元愛、発見！
ニットの風合いが更にストーリーを優しく
表現しています。

「しゃべる紙芝居」はインターネットで
無料公開しています。
文章、音声、動画という形で。
もちろん！英語バージョンがあります。
多くのスペシャリストが関わって制作した
アートな作品でもあり、五泉ニット組合の
事務局長も絶賛するほどです。
いつか現物を見たいです。
五泉市の誇れる「忠犬タマ公」が
もっと拡散されますように！
委員会では学校での読み聞かせもしています。
現在タマ公の銅像は7体。どこにあるのかな？

詳しく知りたい方はこちらをどうぞ ↓
<http://kame-net.wixsite.com/tamakou>





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第165号:H31.2.27 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉子ども食堂が立ち上がりました!

「笑顔がいっぱいの空間でした(#^^#)」



今回で3回目の五泉子ども食堂は、
毎月第4土曜日越後天然ガス
五泉ショールームミライeにて開催とのこと。
 前回とても好評で、大忙しだったと聞いていたので
 三角巾とエプロンとマスクを持参したところ、
 大歓迎して頂きました!
 20名くらいのスタッフさん。
 チームワークよく作業されていました。
 皆さん手際よく、お見事!としか言いようがないです。
 でも現場は間違いなく大忙しのでんてこ舞い。
 11:30から13:30の長いピークによく耐えたと思います。
 若い世代の**ママさんのお子様連れ**が多かったです。
お友達家族と一緒にだったり。
おかわりください!とお椀を差し出すお子さんと
 嬉しそうに受け取るスタッフさんとのやりとりが
 またあったか〜くていいんです。
 美味しそうに**ニコニコ笑顔**で食べてくださる皆さんと
 嬉しそうに動き回るスタッフさんとは
 元々大きな家族だったかのように見えました。
 大人82名、こども55名と大盛況!

こういう空間を誰かの思い立ち、行動で作ることが出来る!
 その方が、五泉子ども食堂運営委員代表の木伏さんでした。
 保育士をきっちり勤め上げた後に、調理師の資格を取り、
 発酵についても勉強し、食についての学びを積み重ねていました。
 自宅でカフェでもやろうかな〜と。

ある時TVを見て子ども食堂に興味を持ったそうです。
 既に運営しているところへ見学を申し込み。
 何回か通い自分が目指す方向性が見えてきたとき、
 立ち上げたい!という気持ちになっていたといいます。
 それが、現場で見えた光景そのものでした。
 知ってる人も知らない人も、年齢も何もかも分け隔てなく
 関わり合い、食べる人も作る人も、食を通じて喜びを
 分かち合うところ。そしてホッとするとところ。
 こういう空間が沢山あったらいいな〜と思います。
 オープンについては、まるで奇跡のような出来事だったと
 振り返ると同時に、ここまでやっていることについて
 多くの方に感謝していらっしゃいました。

バイタリティ旺盛な木伏さん、
 まだまだ人生に何か仕掛けようとしているのでしょうか?
 年齢にこだわりは必要ない「夢」を持つことは良いこと!
 それを「話す」こと!とお話していただきました。
 五泉子ども食堂へ、一度行ってみたいはいかがでしょうか?



GOSEN Child Kitchen

五泉子ども食堂

毎月第4土曜日開催
(11月第5土曜日、12月第3土曜日)

五泉子ども食堂は世代間交流を目的としております。
 どなたでもお気軽にお越しください。

～2019年度の開催日は以下の日程になります～
 1/26・2/23・3/23・4/27・5/25・6/22
 7/27・8/24・9/28・10/26・11/30・12/21

主催：五泉子ども食堂運営委員
 協賛：越後天然ガス㈱
 後援：五泉市

特別協賛
 にいつフードセンター様

開催要項

【開催時間】 12:00～14:00
 【料 金】 子ども：無料(中学生以下) 大人：200円
 【場 所】 越後天然ガス 五泉ショールームミライe にて開催!
 ナビ検索 ☎ 〒959-1824 五泉市吉沢2-1-27
 ※お名前と参加人数を下記アドレスにご連絡を頂けると幸いです。当日参加も可能です。
 ※アレルギー対応はしておりませんのでご了承ください。

五泉子ども食堂では、
 五泉野菜をたっぷり使った
 汁物が毎回付きます!

お問い合わせ先
 五泉子ども食堂運営委員
 代表 木伏ケイ子
 Tel: 090-6922-8668
 Mail: teruokibushi@mou.ne.jp
 QRコードより取得できます。